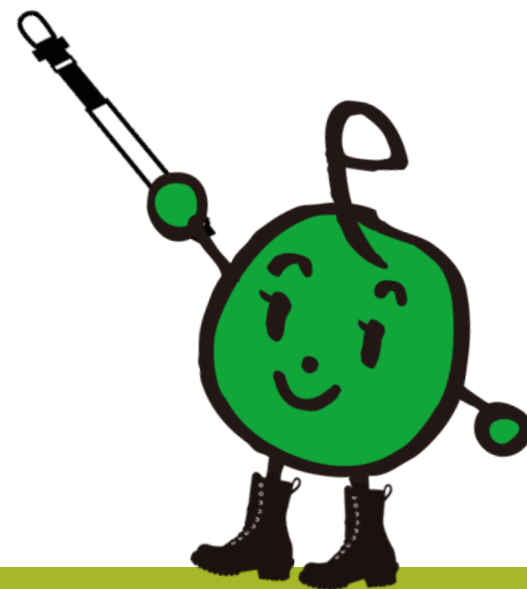


2024年度 こどもエコクラブ

サポーターアンケート 結果報告書

 **JEA** 公益財団法人日本環境協会
Japan Environment Association

こどもエコクラブ全国事務局



サポーターアンケート調査のあらまし

こどもエコクラブのサポーター及び活動の実態を把握し、こどもエコクラブが持続可能な社会づくりの担い手育成に対してどのように貢献しているか、またどのような課題を抱えているかを明らかにするとともに、調査結果を関係者と共有し、今後の事業展開の参考とさせていただきます。

【実施概要】

1. 対象：2024年度登録クラブのうち

①メールアドレスが登録されている 1,725クラブ

②FAX番号が登録されている 33クラブ

合計1,758クラブ

※3月17日時点

※こどもエコクラブ全国フェスに参加したクラブも含む

2. 実施期間：2025年3月17日～4月10日

3. 実施方法

- ・アンケート回答用ウェブページを作成、メールまたはFAXでURLを案内し回答を依頼
- ・インターネットが使用できないクラブにはFAX・郵送での回答を依頼

4. 有効回答数

①ウェブサイトからの回答：197件

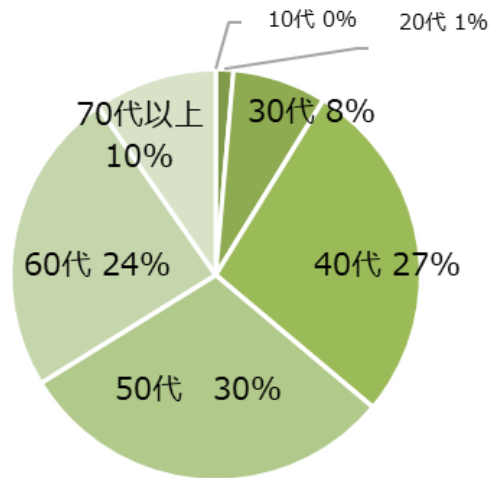
②FAX・郵便等での回答：19件

合計：216件（回答率 12.3%）

※ウェブサイト回答率 11.2%

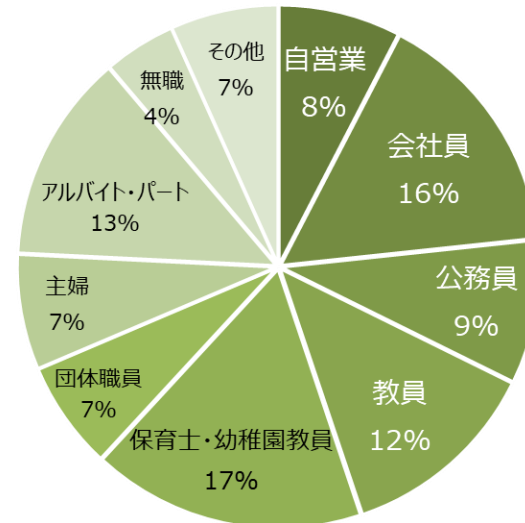
多様な年代・職業のサポーターさんからご回答いただきました

◆サポーター年代



(n=216)

◆サポーター職業

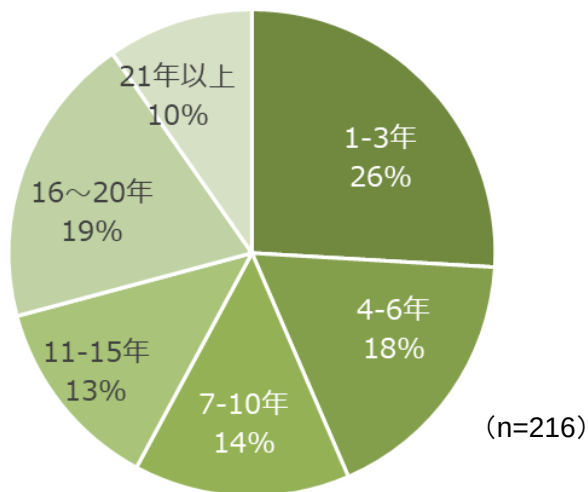


(n=216)

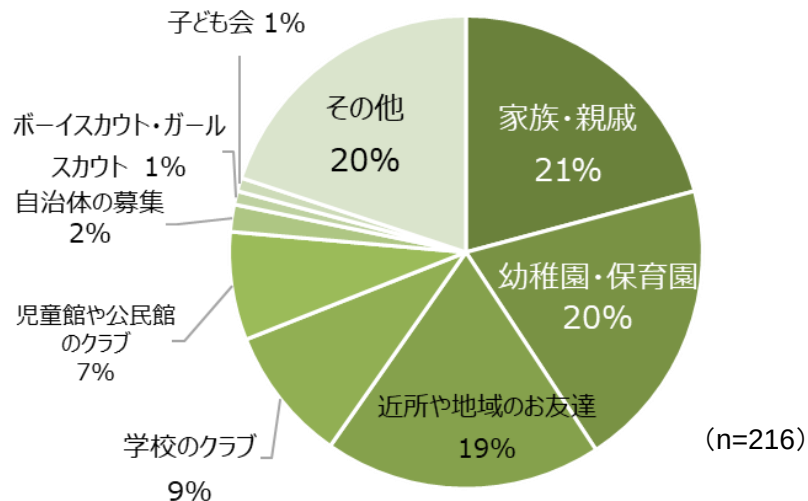
- 様々な職業の方が子どもたちの環境活動をサポートしてくださっていることがわかりました。
- 年代は40～60代中心、職業は保育士・幼稚園教員、会社員がやや多めで合計33%となりました。
- セクターを越えて地域の環境問題に携わっていただいている方々とのネットワークを築いていることが、こどもエコクラブの大きな強みです。この強みを活かして**地域課題解決のために多様な主体・ステークホルダーによる協働と実装をさらに強化**することが今後、望まれます。

幅広い活動継続年数・多様なクラブ形態で活動しています

◆クラブの活動継続年数

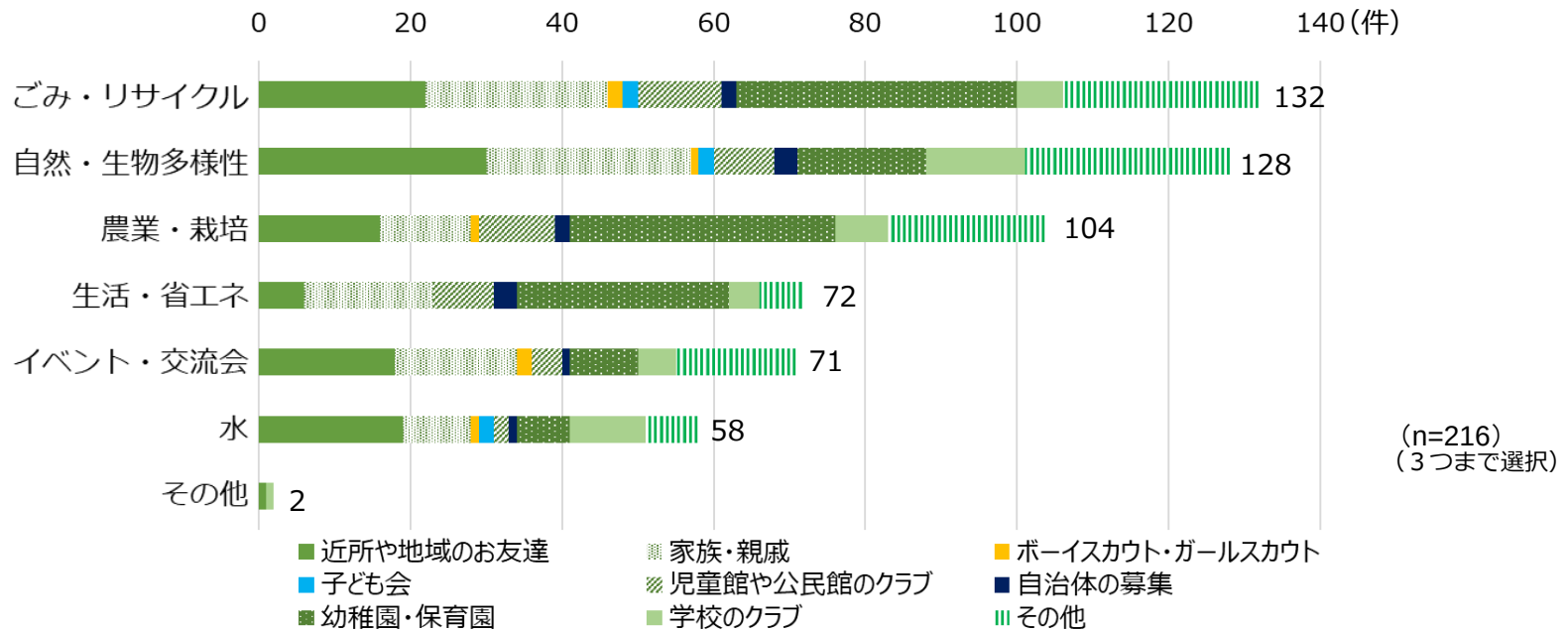


◆クラブの形態



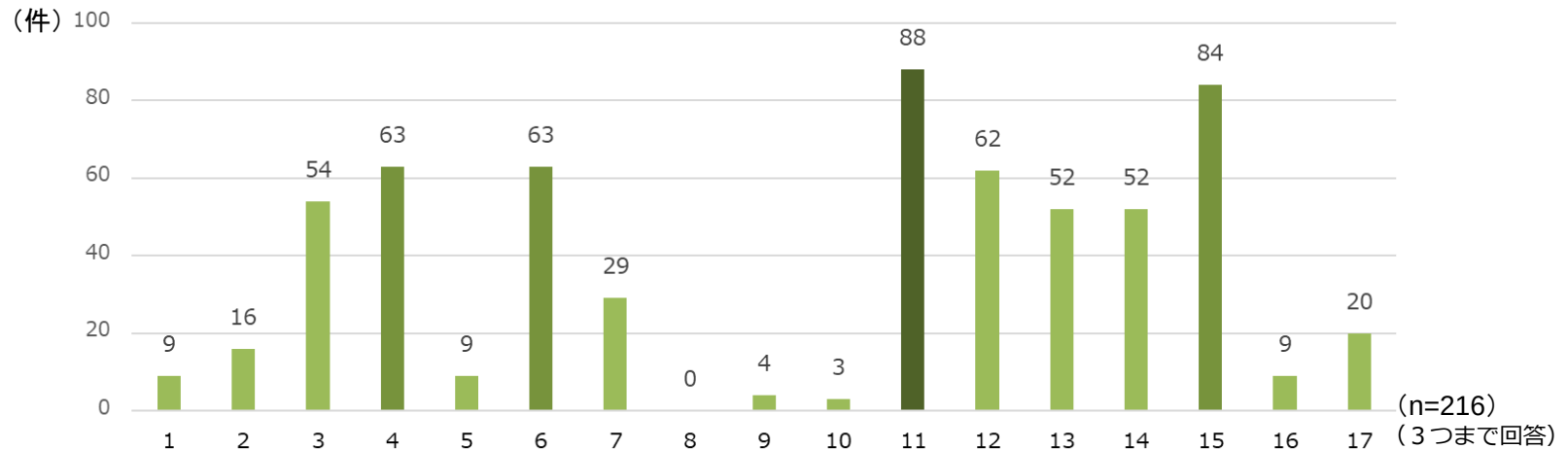
- ・ 新しく結成されたクラブから21年以上の活動歴があるレジェンドクラブまで多様なクラブのサポーターさんより回答をいただきました。
- ・ また、多様な形態のクラブよりまんべんなくご回答いただきました。
- ・ こどもエコクラブ全体では4割以上が家族・親戚のクラブで構成されていますので、本アンケートでは、幼稚園・保育園、近所や地域のお友達クラブから多くのご回答をいただきました。

多様なテーマ・内容で活動を行っています



- 上の図は、クラブの活動内容の主なものを回答いただいたものです。
- **半数以上のクラブが、清掃活動やリサイクル工作などの「ごみ・リサイクル」に関する活動、生き物観察・調査、生息地の保全活動などの「自然・生物多様性」に関する活動を実践していることがわかりました。**
- **幼稚園・保育園のクラブでは、環境活動（ごみ・リサイクル、農業・栽培）と生活活動（生活・省エネ）を連携して行っていることがわかりました。**
- その他としては、ワークショップやコンサート、壁新聞づくり、企業・自治体等主催のイベントへの参加といった活動が挙げられました。
- 1回あたりの活動平均参加人数は、こども16.6人、サポーター7.1人でした。

SDGs目標では「11.持続可能なまちづくり」に該当する活動が多い状況です

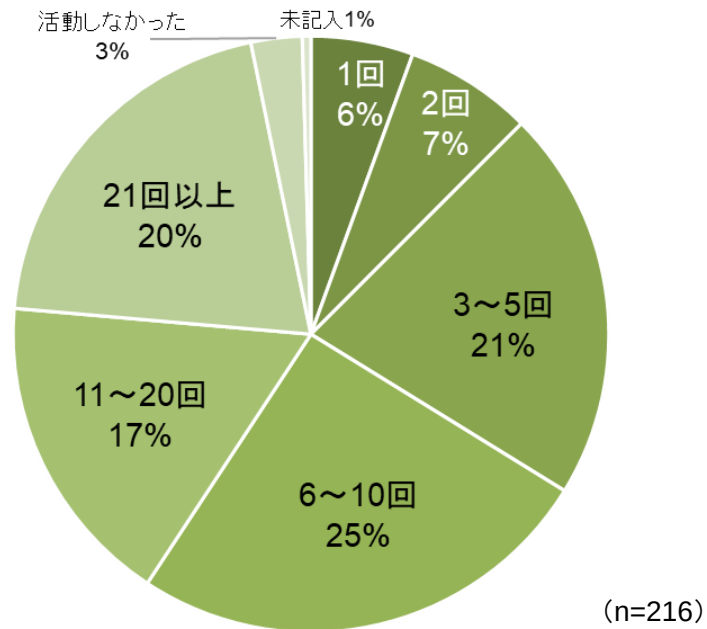


SDGs目標	内容	割合
目標1	貧困をなくす	4.2%
目標2	飢餓をなくす	7.4%
目標3	健康と福祉	25.0%
目標4	質の高い教育	29.2%
目標5	ジェンダーと平等	4.2%
目標6	水と衛生	29.2%
目標7	クリーンエネルギー	13.4%
目標8	経済成長	0.0%
目標9	産業・技術革新・社会基盤	1.9%

SDGs目標	内容	割合
目標10	格差の是正	1.4%
目標11	持続可能なまちづくり	40.7%
目標12	持続可能な消費と生産	28.7%
目標13	気候変動へのアクション	24.1%
目標14	海洋資源	24.1%
目標15	陸上資源	38.9%
目標16	平和・正義・有効な制度	4.2%
目標17	パートナーシップ	9.3%

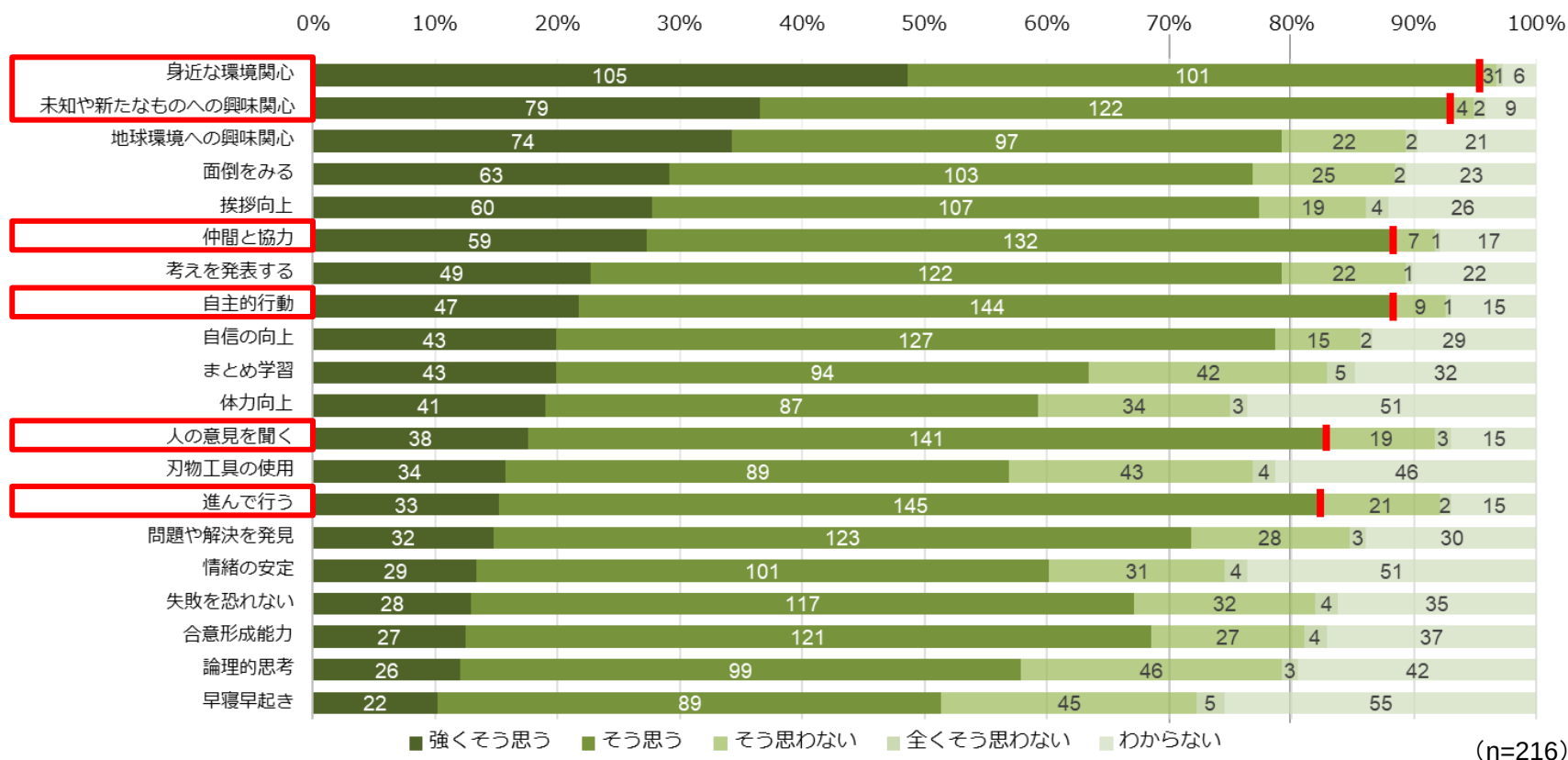
- 上の図は活動がSDGsのどの項目に該当するかについて回答いただいたものです。
- **目標11「持続可能なまちづくり」が一番多く、約41%でした。**
- 目標15「陸上資源」が約39%、目標4「質の高い教育」目標6「水と衛生」と続いて多く、テーマに活動されているクラブが多い傾向であることがわかります。

継続した活動で子どもの成長を促しています



- 上の図は、1年間にクラブが行った活動の回数を表しています。
- 8割以上のクラブが3回／年以上活動していることがわかりました。
- 4割弱のクラブが、平均すると毎月1回以上活動しており、**継続して活動することによって子どもたちの成長を促すこどもエコクラブのコンセプトが浸透**していることがうかがえます。

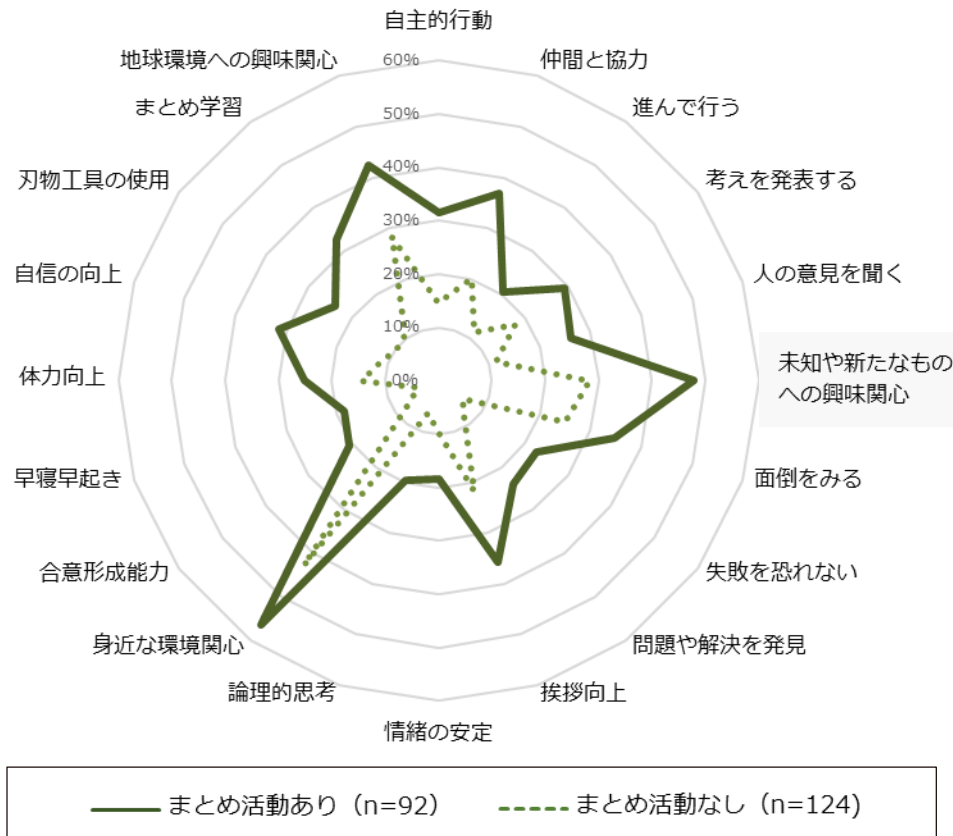
こどもエコクラブの活動は多様な方面から子どもの成長を促します



- 上の図は活動によって子どもがどのように成長していると感じているかを聞いたものです。
- 4段階評価の「強くそう思う」+「そう思う」の件数は「身近な環境関心」「未知や新たなものへの興味関心」「仲間と協力」「自主的行動」「人の意見を聞く」「進んで行う」が多い結果でした。
- 子どもたちは地域の環境に目を向け、自主的に仲間と協力しながら地域課題について考え、地球規模の環境向上への意識変容につながっていると考えられます。

(*)

特に壁新聞や活動レポート作成などの「まとめ活動」は効果的です

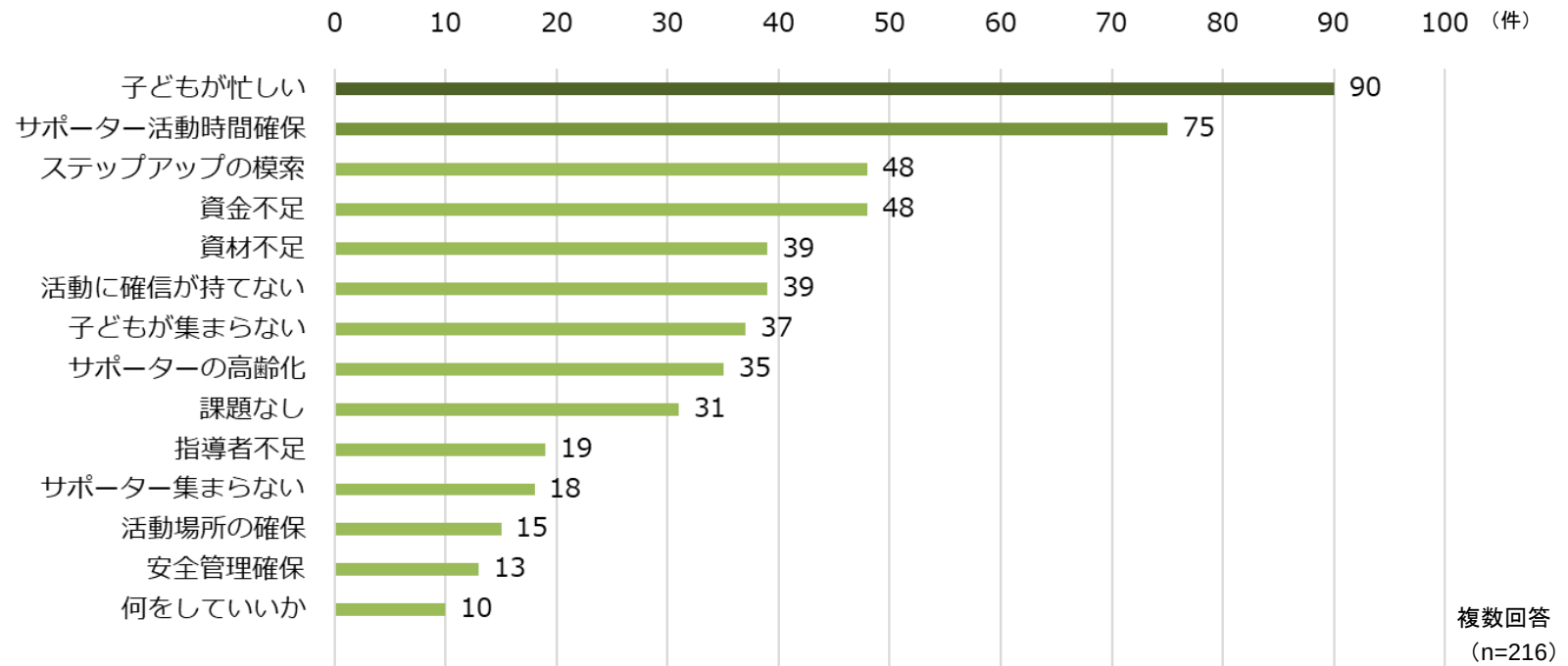


	まとめ学習あり (n=92)	まとめ学習なし (n=124)	まとめ学習ありとなしの差
自主的行動	31.5%	14.5%	17.0%
仲間と協力	37.0%	20.2%	16.8%
進んで行く	20.7%	11.3%	9.4%
考えを発表する	29.3%	17.7%	11.6%
人の意見を聞く	26.1%	11.3%	14.8%
未知や新たなものへの興味関心	47.8%	28.2%	19.6%
面倒をみる	34.8%	25.0%	9.8%
失敗を恐れない	22.8%	5.6%	17.2%
問題や解決を発見	23.9%	8.1%	15.8%
挨拶向上	35.9%	21.8%	14.1%
情緒の安定	18.5%	9.7%	8.8%
論理的思考	19.6%	6.5%	13.1%
身近な環境関心	56.5%	42.7%	13.8%
合意形成能力	20.7%	6.5%	14.2%
早寝早起き	18.5%	4.0%	14.4%
体力向上	25.0%	14.5%	10.5%
自信の向上	31.5%	11.3%	20.2%
刃物工具の使用	23.9%	9.7%	14.2%
まとめ学習	32.6%	10.5%	22.1%
地球環境への興味関心	42.4%	28.2%	14.2%

(*) まとめ学習＝壁新聞、活動レポート、絵日記のいずれかの活動に取り組んだクラブ

- 壁新聞、活動レポート、絵日記等の「まとめ活動」を実施したクラブについては、実施していないクラブと比較してこどもたちの成長・変化に好影響、評価が高いことがわかりました。
- 特に「まとめ学習（調べたこと、わかったことを文章や図にまとめられるようになった）」「自信の向上」「未知や新たなものへの興味関心」「失敗を恐れない」「自主的行動」については他項目と比べて高い数字となりました。

サポーターが課題としてとらえていること



- ・ サポーターも 子どもも忙しく時間がとりにくいことが課題ととらえるクラブが多く、続いて、今後のステップアップへの模索が課題ととらえるクラブも多くありました。
- ・ 物価高騰の影響か「資金不足」が昨年度17%（6位）→今年度22%（3位）となりました。

活動のステップアップに向けて、**サポーター向け研修、活動の事例共有の場（交流会）等の取り組みが考えられます。**

課題を克服するために、事務局に望むこと・実践していること（自由回答）

- **地域での連携に関すること**

企業や団体・協力者との連携等、多様な地域主体とネットワークをつくって活動しているという回答がありました。

- **情報や資料の提供に関すること**

身近なことからできる活動・内容に関する資料や情報の提供、地域開催のイベント情報に充実を求める意見が多くあがりました。また、媒体として、メールだけではなくLINEや各種SNS、ドライブの活用希望という回答がありました。

- **人材派遣・育成研修に関すること**

内容にあった講師や協力者、サポーターの派遣を希望する声がありました。また、サポーター育成のための研修会や講演会などを通して、世代交代を図っているという回答もいただきました。

- **他クラブとの交流に関すること**

メンバーの学年があがるにつれて活動内容や方向性に課題を持っていること、参加者数を増やすことによる課題があることから、他のクラブでの事例が知りたい・交流したいという回答がありました。

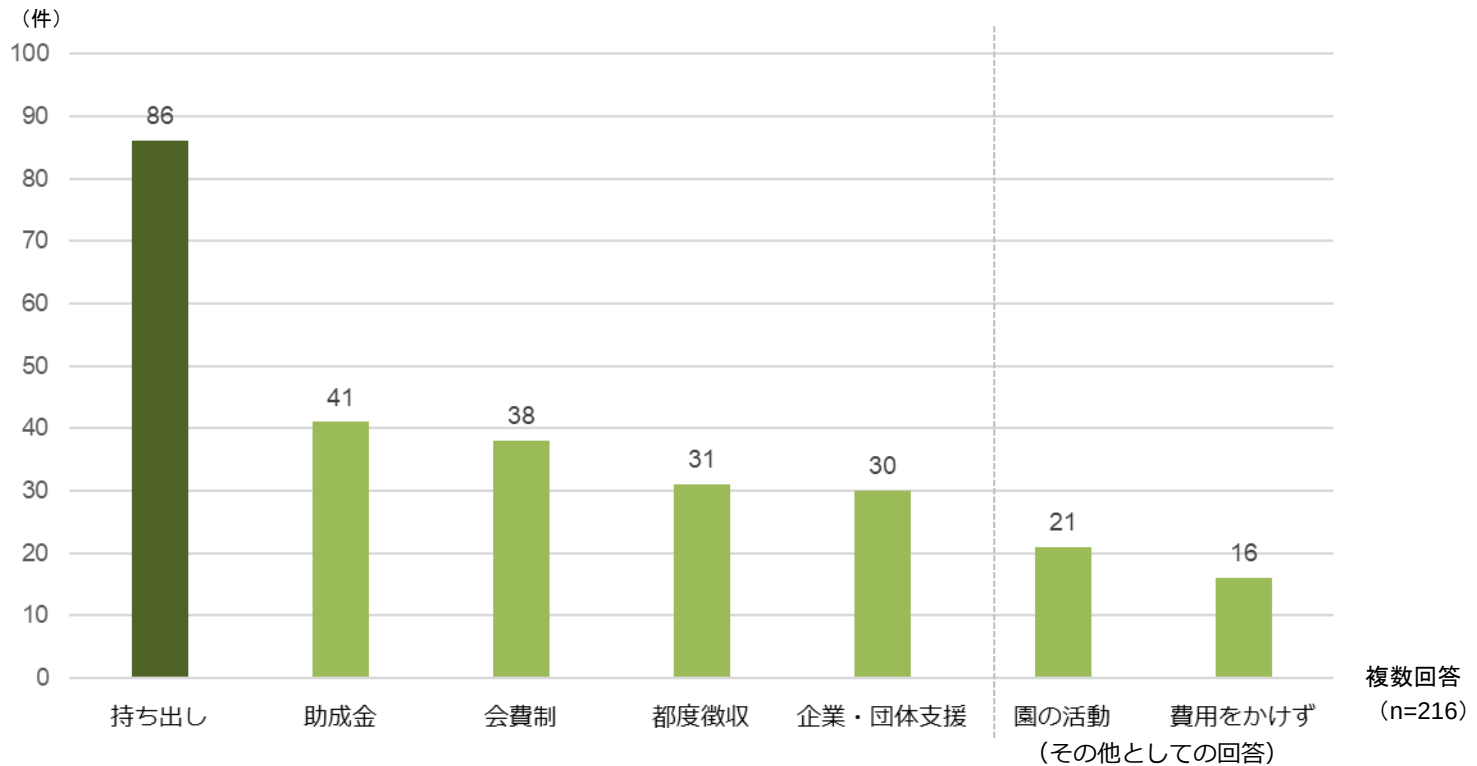
- **資金や助成金に関すること**

資金や助成金の情報が必要という意見が多数ありました。バザーを開催して資金を得る、企業支援を活用する等の工夫をしているという回答もありました。

- **地域事務局への期待**

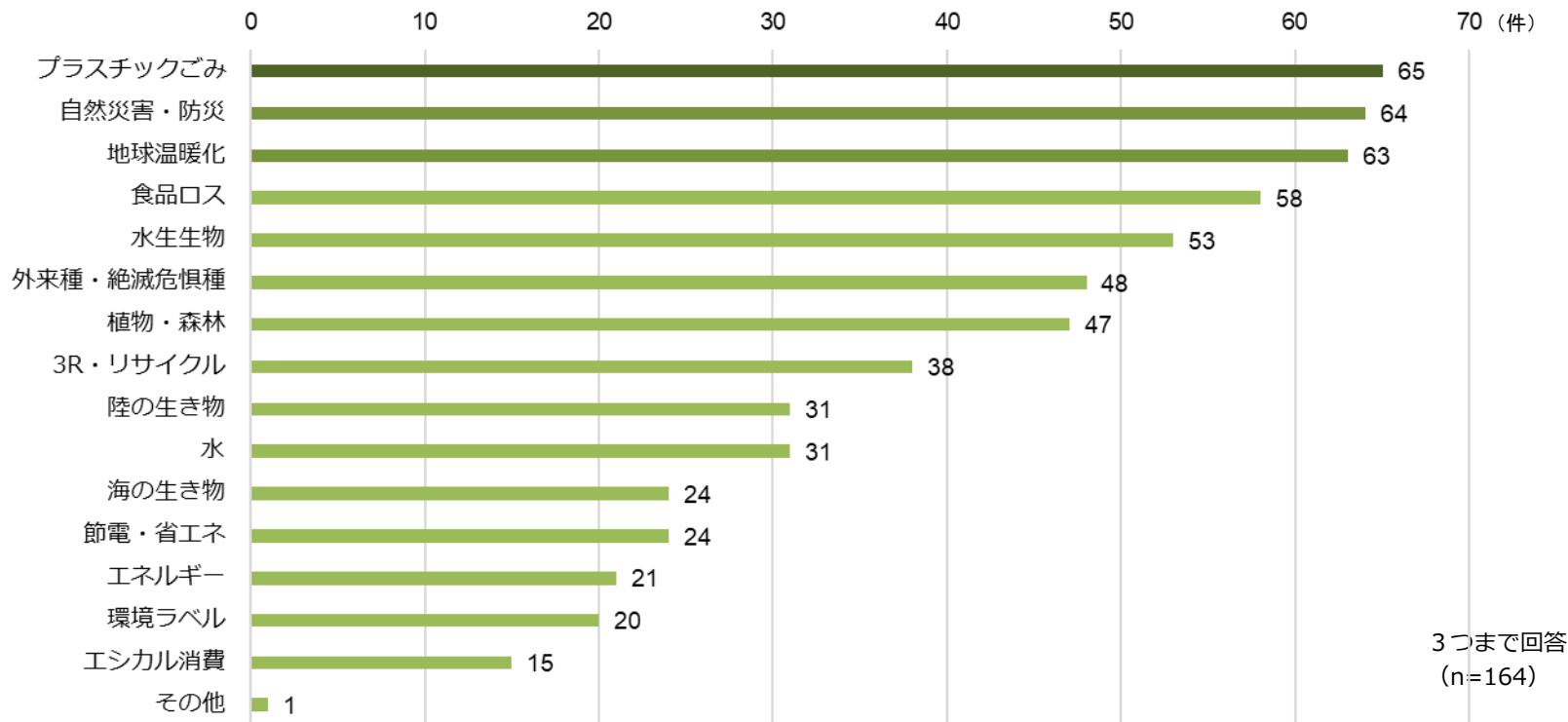
地域人材（サポーター）の発掘やクラブとの積極的な関わりを期待するという回答がありました。また、交流会への参加者増加策や内容検討に期待する意見がありました。

活動に必要な資金の調達について



- サポーターが持ち出しで負担している件数が多い一方で企業・団体からの支援や助成金をうまく活用し、資金を得ている状況がうかがえました。
- 園の活動の一環として取組みを行うなど、費用のかからないことを工夫して実践しているという声もありました。
- 活動で制作したものを販売し、活動費を得ているクラブもありました。

新たなプログラム・コンテンツを希望するテーマについて



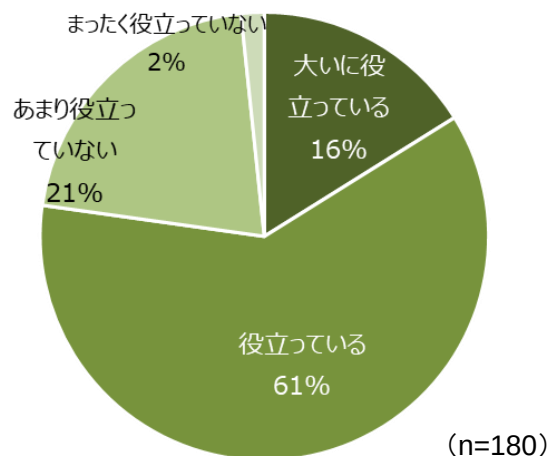
- プラスチックごみ、自然災害・防災、地球温暖化が上位3つとなりました。
- 自然災害・防災について、昨年度23%（5位）→今年度29.6%（2位）に上昇しました。
能登半島の地震や豪雨被害、南海トラフ臨時情報の発令、阪神淡路大震災から30年に加え、気候変動の影響と思われる異常気象による被害が多かったことからか、防災の危機意識が高まっていると思われます。

サポーターメールマガジン★の有用性・希望するテーマについて

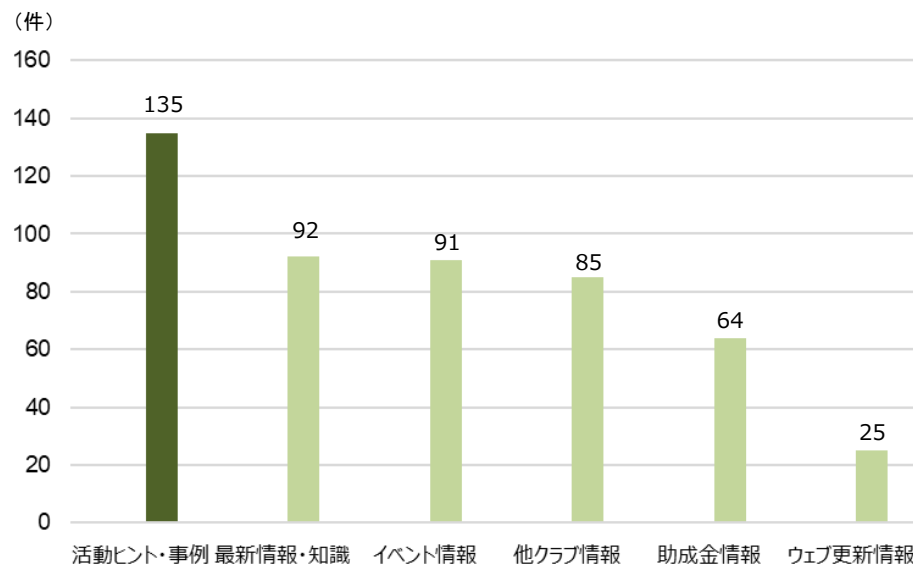
★ 毎月1日・15日の2回配信

◆メールマガジンの情報有用性

* メールマガを読んだことのある方に対して調査



◆メールマガジンに希望する情報・テーマ



複数回答可
(n=216)

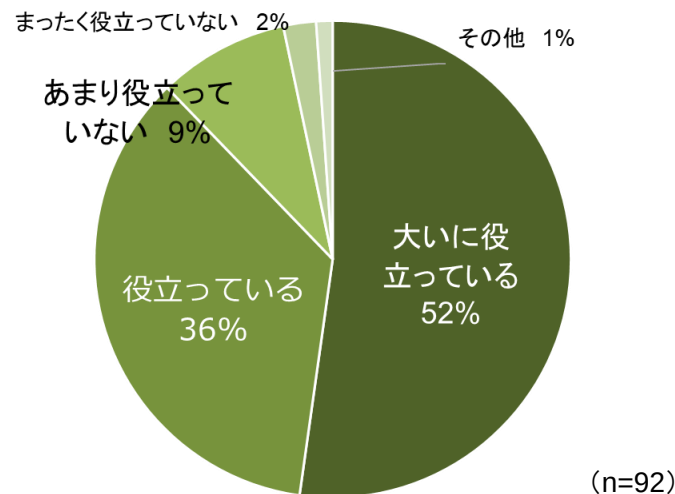
- ・ 約77%の方がメールマガジンの情報について活動に役立っていると回答しています。
- ・ 今後、メルマガにどのような情報を希望するかをたずねたところ、環境活動のヒント・活動事例、環境に関する最新情報やイベント情報の提供、他のクラブの情報や状況の共有を希望する声が多くきかれました。

活動レポートのフィードバック（応援メッセージ★）について

★<https://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/list.php>

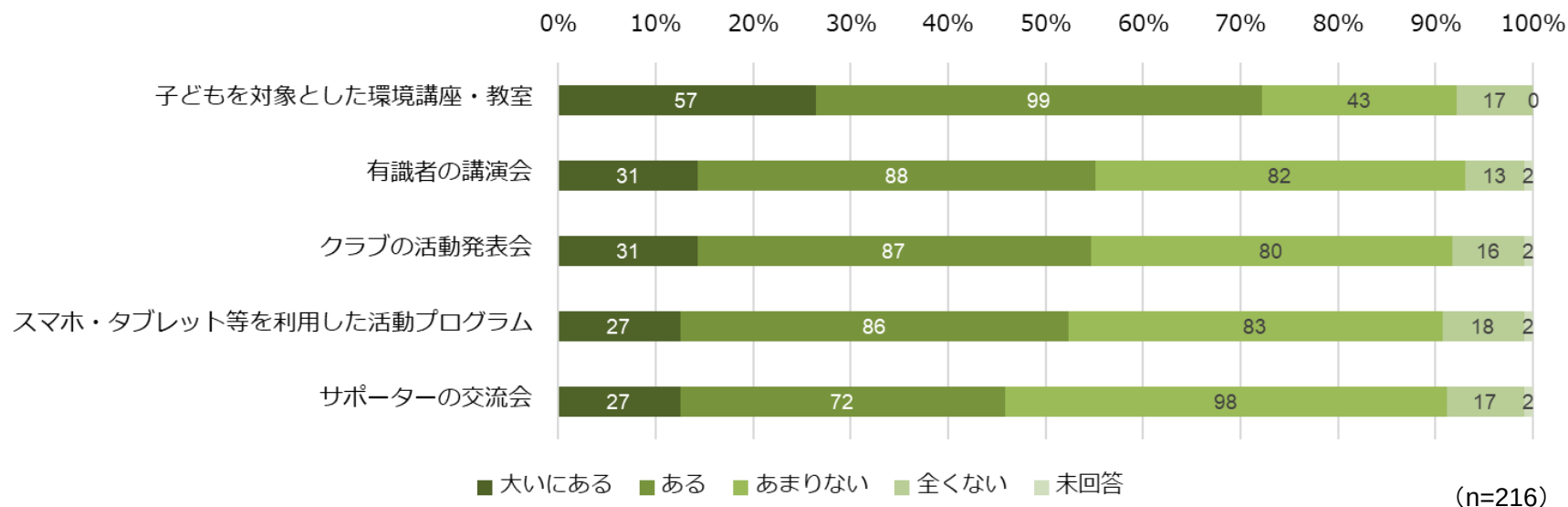
◆応援メッセージ（フィードバック）有用性

* 活動レポートを投稿したことがあるクラブに対して調査



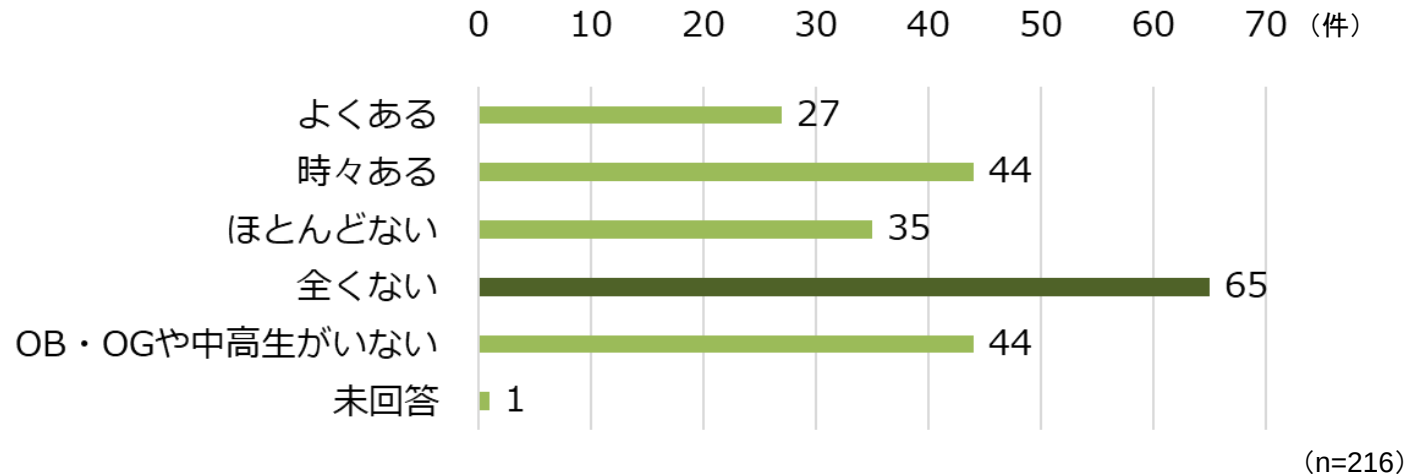
- 上の図は、クラブから投稿された活動レポートに対してフィードバックを行う、有識者による「応援メッセージ」の有用性についてお聞きしたものです。
- 88%の方が応援メッセージが今後の活動に役立っていると回答しています。
- 活動レポートの投稿については、作業時間がない・操作方法に自信がない等の理由で投稿をしたことがないクラブが半数近くあったため、**より簡単に手軽に投稿できる仕組みや操作方法のナビゲート等**を検討していきます。

オンラインやデジタル機器を活用した活動・イベントへの関心について



- 上の図は、オンライン・デジタル機器を活用することへの関心を示しています。
- 子どもを対象とした環境講座・教室は関心が高いことがわかりました。
- 一方で、活動発表や交流についてはオンラインは活用の関心は半数程度でした。
(対面重視の可能性が高いと思われます)

こどもエコクラブOB・OG（ユース）のかかわり方について



- 上の図は、OBやOG、中高生がどの程度関わっているかを聞いた結果です。
- 「全くない」「OB・OGがいない」が多い状況がわかります。
- 一方でよくある、時々あるを合わせると33%であり、一定数、OBやOGが関わっているクラブもあることがわかります。

各種の表彰について

- 2024年度、こどもエコクラブの活動によりクラブまたはクラブメンバーが賞を受けたかについてお聞きしました。
- ひとつでも表彰を受けたクラブは**216クラブ中、28クラブ**（約12.3%）でした。
- 賞を受けた表彰の種類や主な名称を下記に列挙します。
 - ✓ 自治体主催 教育委員会賞、文化奨励顕彰、さっぽろこども環境コンテスト、小学校教育研究会、北九州市3R活動推進奨励賞、生物多様性こうちプラン大賞等
 - ✓ 団体主催 コカ・コーラ環境教育賞受賞・ノミネート、日本環境教育学会「2050年の社会と私たちの暮らし」、GBEFフォーラム2024「審査員奨励賞」、木原営林大和事業財団（東京都）顕彰等

＜参考＞

本アンケート調査とは別に、環境省主催「環境教育・ESD実践動画100選」では、2件のクラブが2024年度、入選しています。

まとめ・謝辞

その他いただいたご意見として、活動レポートのエールメッセージは、とても丁寧で嬉しく、活動が続けていこうとモチベーションが上がるという声が複数ありました。

また、こどもエコクラブの活動を通して、子どもたちが大きく成長している。子どもたちの探究的な学び（国の教育方針）が進み、一人ひとりが自己課題を持っていますし、話し合いながら活動を広げていきますので、サポーターも一緒に楽しんでいる、という嬉しい声もいただいています。

こどもエコクラブの活動は、
協働を通して若年層の人材を育成し、地域の環境に目を向け、
地球規模の環境向上への意識変容につながっていると考えられます。
また、クラブの仲間と協力し、
壁新聞や活動レポート等のまとめ学習を行うことは、
こどもたちの成長・自己肯定感の向上に
大きな好影響を与えていると推察されます。

こどもエコクラブ全国事務局では、アンケート結果を活かして
クラブのみなさまのお役に立つ情報やプログラムを展開していきたいと思います。
ご回答いただきましたみなさま、ありがとうございました。

